

「LRRRI 会員 & 役員だより」(令和7年4月号)

技術士合格体験記：

令和6年度 技術士第二次試験 建設部門(土質及び基礎)に合格して

技術者として、“技術士”という資格は、誰もが憧れて目指す難易度の高い資格であると思います。私自身も、数回チャレンジしました。途中挫折し、数年間空白の期間がありましたが、数年ぶりに令和6年度技術士第二次試験を受験し合格することが出来ました。私自身は、業務において補強土壁工法や補強盛土工法、軽量盛土工法、切土補強土工法などの土構造物が中心であり建設部門(土質及び基礎)で受験しました。選択問題Ⅱは、自身の専門とする分野で、ある程度の知識があり、どのようなことを勉強すればよいか、何となく理解しているつもりでした。(とはいえ、過去にB判定もありましたが・・・)私は、必須問題Ⅰの建設一般についての勉強方法などが正直何をどう勉強すればよいか悩んでおりました。よく、国土交通白書や国土交通省HPなどの情報から勉強するという事を耳にしておりましたが、業務も多忙の中でこのような資料を熟読し勉強するというのは、気が遠くなります。このような状況のなかで、人材育成教育や資格取得支援サポート講習として実施される『エルリ塾 Part3』の受講を勧められました。早速申し込みを行い、受講することしました。講習は、リモートで実施するため、業務への支障はほとんどなく、夕方に業務をほぼ終えた後に受講する形式でした。現在、国の求める政策等に基づいたテーマを中心に全5回の講習を受講しました。受講内容は、技術士第二次試験の必須問題Ⅰで問われるような内容のものであり、それらを各テーマ別に要約し、重要なキーワード等をわかりやすく纏めて頂いている資料で行われました。他にも受験テクとして様々な情報を頂きました。国道交通白書を熟読する時間の無い私には、とてもありがたい講習でした。実際に技術士第二次試験の勉強時には、受講時の資料から技術士第二次試験の問題を想定して準備を整えました。各テーマにおいて、3つ以上の課題を抽出し、複数の解決策を準備し、新たに生じるリスクと対応というように纏めて出題時のテーマに合わせて回答できるような準備を行いました。実際に試験では、全国的なネットワーク形成に関する出題に対して、事前に整理していた事項から回答し、A判定をもらうことが出来ました。

日々の勉強については毎日少しでもやらなきゃと思いつつも、仕事の忙しさを理由に今日はいいや、明日からとズルズル日々が過ぎることが過去にもありました。

『エルリ塾 Part3』では、受講後に講師の方々から、演習論述問題が出題されます。日々

の業務が忙しい中でも、この論述問題に取り組むことで、回答作成するために嫌でも勉強する時間をとるようになりました。このように期限を決められた中で集中して取り組む環境となったのが良かったと今では感じます。そして、何よりも講師の方々が論述問題を添削して、回答についてアドバイスを頂けることが大きなポイントです。市販の参考書で回答案を作成しても、それが良い回答なのかがわかりません。自身の回答をこうするともっと良くなるというアドバイスを頂き回答を再作成しA判定がもらえるように心掛けました。このように『エルリ塾 Part3』のおかげで今回は挫折することなく取り組むことができ、合格することが出来ました。ご指導頂きました、講師の方々に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

岡三リビック株式会社 ジオテクノ部 統括グループ長

山中 一隆